

8月30日(水)～9月5日(火)は防災週間

―9月1日は防災の日です―

平成29年度東京消防庁防災標語

「防災で 守る地域と みんなの笑顔」(作者 吉田清隆さん 杉並区在学)

今から94年前の大正12年9月1日、関東地方は大震災に見舞われ、壊滅的な被害を受けました。毎年この日は「防災の日」とされ、この日を中心とする防災週間には、全国的に防災に関する行事が行われます。

○東日本大震災を踏まえ、皆さん一人ひとりがもう一度身の回りで起こる災害について考えましょう。

○地震時の死亡・負傷の原因となる家具類の転倒・落下・移動防止対策をするなど、普段から災害に対する備えに取り組みましょう。

○「自らの生命は自らが守る」という「自助」の意識のもと、地震が発生した時に適切な行動が取れるように、防災訓練に積極的に参加し、防災行動力を高めましょう。

○まちぐるみで「自分たちのまちは自分たちで守る」という「共助」の意識を共有し、地域の人々が協力して助け合って、いざという時に備えましょう。

福生消防署では、防災週間に合わせ、9月2日(土)に防災救急フェアを行う予定です。詳しくは、問い合わせてください。

○問合せ 福生消防署予防課 防火査察係 ☎552-0119

東京防災学習セミナー (ホリデーセミナー)

首都直下地震への備えとして、一人ひとりが自分を守り、近くにいる人同士が助けあうことが何より大切です。

その一助として「東京防災」を活用し「避難所運営の手順と方法」や「マンシヨンの防災対策」などをテーマとしたホリデーセミナーを実施します。

▼日程・会場・定員・テーマ
■第1回 8月20日(日)・都議会議事堂1階都民ホール・250人

○木密地域の防災対策
○被災経験者または被災地支

援経験者に学ぶ

■第2回 9月16日(土)・都庁第一本庁舎5階大会議場・500人

○避難所運営の手順と方法
○風水害・土砂災害への対策

■第3回 10月22日(日)・都議会議事堂1階都民ホール・250人

○マンシヨンの防災対策
○要配慮者・避難行動要支援者への対策

■第4回 平成30年1月14日(日)・都庁第一本庁舎5階大会議場・500人

○地域の危険を知る地域ハザードマップの作成
○「東京防災」に学ぶ首都直下地震などへの備え

時間 午後2時～4時15分(受け付け午後1時) / 対象 都内在住・在勤・在学の方 / 申込み 事前に、住所・氏名・性別・電話番号などを電話またはファクスで申込先へ(当日定員に空きがある場合当日参加可能、複数回の参加も可能)

※申込方法など、詳しくは「東京防災ホームページ」をご覧ください。

○申込先・問合せ 東京防災

学習セミナー事務局 ☎03-3212-1316 FAX 03-5218-1088 1(電話の場合、土・日曜日、祝日を除く午前9時～午後5時)

2017夏耐震キャンペーン

都では、8月27日(日)～9月9日(土)に耐震キャンペーンを行います!

いつ起こるかわからない巨大地震から私たちの命を守るため、建築物の耐震化に向けた具体的な対策を進めましょう!

耐震フォーラム

「いつかくる地震に備えて、知っておこう、耐震化のキホン」

▼日時 8月31日(木)午後1時～4時15分 / 会場 都議会議事堂1階都民ホール / 定員 250人(予約制・先着順)

建物の耐震改修工法などの展示会

▼日時 8月27日(日)～29日(火)の午前10時～午後6時(最終日のみ午後4時まで) / 会場 新宿駅西口広場イベントコーナー(入退場自由)

耐震化個別相談会

▼日時 8月31日(木)午前10時30分～午後1時 / 会場 都議

会議事堂1階都政ギャラリー / 定員 30組(予約制・先着順)

防災体験・耐震改修バスツアー

▼日時・見学先
■Aコース(9月1日(金)午後) 東京大学地震研究所▽マンション(世田谷区)

■Bコース(9月8日(金)午前～午後) そなエリア▽テナントビル(中央区)

■Cコース(9月9日(土)午後) 立川防災館▽マンション(八王子市)

定員 各コース20人(予約制・先着順)

各催し物の申込み 事前に、電話・ファクスまたはEメールで耐震キャンペーン事務局へ ☎03-5776-2818 FAX 03-5776-2842

☎2017taishin@hwada-gum.i.co.jp

※申込みなどについて詳しくは「東京都耐震ポータルサイト」をご覧ください。

○問合せ 東京都都市整備局 建築企画課 ☎03-5338-1333 9

あいサポート研修会・相談会

▼日時 8月24日(木)午後0時30分〜4時30分(受付は午後0時30分)／会場 八王子市生涯学習センタークリエイトホール5階ホール・展示室ほか／内容 講演「見えにくさのある子どもに対する支援〜眼科医の立場から〜」、本校実践報告、相談コーナー、体験コーナー、展示コーナーなど／講演者 富田香さん(平和眼科)

①申込み問合せ 事前に、電話で都立八王子盲学校へ☎62313278(土・日曜日、祝日を除く午前9時〜午後5時)

「法定相続情報証明制度」が法務局でスタート

現在、法務局(登記所)では、各種相続手続に利用することができ法定相続情報の証明書を無料で発行しています。制度について詳しくは「法務省 法定相続情報証明制度」でウェブ検索するか問い合わせてください。

②問合せ 登記電話相談室 ☎54017211

知っていますか？ 建退共制度

建退共制度とは、中小企業退職金共済法に基づき建設現場労働者の福祉の増進と建設業を営む中小企業の振興を目的として設立している退職金制度です。

この制度は、事業主の方が労働者の働いた日数に応じて掛金となる共済証紙を共済手帳に貼り、その労働者が建設業界で働くことをやめたときに建退共から退職金を支払う退職金制度です。

▼加入できる事業主 建設業を営む方／対象労働者 建設業の現場で働く人／掛金(月額) 310円

- 国の制度なので安全・確実、申込みは簡単です。
- 経営事項審査で加点評価の対象となります。
- 掛金の一部を国が助成します。
- 掛金は事業主負担となりますが、法人は損金、個人では必要経費として扱われ税法上全額非課税となります。
- 事業主が変わっても退職金は企業間を通算して計算します。

建退共制度の特例措置

建退共では、地震などにより災害救助法が適用された皆さんに対し、各種手続きの特例措置を行っています。

建退共から事業主の皆さんへのお願い

○共済証紙は、労働者の就労日数に応じて適正に貼付してください。

○「建設業退職金共済手帳」を所持している労働者が、建設業界を引退するときは、忘れずに退職金を請求するようにしてください。

※詳しくは、建退共ウェブサイトをご覧いただくか問い合わせてください。

③問合せ (独) 勤労者退職金共済機構建設業退職金共済事業本部東京支部 ☎031355115242

大学通信教育合同入学説明会

各大学・大学院・短期大学別の相談コーナーがあり、希望する大学の教職員から講義内容・学習方法・受講手続などについて、直接相談できます。

参加者には大学通信教育の概要、学習方法、開設学科一

覧、取得できる教員免許・資格などが掲載されている小冊子『大学通信教育ガイド』(大学・短大編)・(大学院編)を配布します。

▼日時 9月3日(日)午前11時〜午後4時／会場 新宿エルタワー30階(新宿区西新宿1-6-1)／対象 一般および高校生／入場料 無料／参加校 法政大学、中央大学、日本女子大学、日本大学、玉川大学、佛教大学、近畿大学、明星大学、大阪学院大学、創価大学、産業能率大学、愛知産業大学、京造形芸術大学、帝京平成大学、北海道情報大学、大阪芸術大学、聖徳大学、日本福祉大学、武蔵野美術大学、東北福祉大学、東京福祉大学、奈良大学、星槎大学、東京未来大学、帝京大学、姫路大学、環太平洋大学、早稲田大学、大手前大学、吉備国際大学、京都橘大学、日本大学大学院、日本福祉大学大学院、豊岡短期大学、帝京短期大学など52校参加

④問合せ (公財) 私立大学通信協会 ☎031381813870

※直接会場へお越しください。第26回「明日のTOKYO」作文コンクール作品募集

テーマ 私にできるボランティアをはじめの一步を踏み出すために

「誰かの役に立ちたいけれど、何をすればいいのかかわからない」「自分たちの学校や地域をもっと良くしたいけれど、自分に何かできないだろうか」そんな風に考えている人も多いのではないのでしょうか。

これまでのあなたの経験を思い出して、あなたにできることを考えてみませんか。

▼募集期間 9月7日(木)当日消印有効)まで／応募資格 都内在住または在学の中学生 ※応募方法など詳しくは、(一財)東京都人材支援事業団の「明日のTOKYO」作文コンクール」ウェブページをご覧ください。

⑤問合せ (二財) 東京都人材支援事業団管理課 ☎031529217018